



7月号

令和 5年 6月 23日  
横浜市立 星川 小学校  
校長 いがらし あきら  
五十嵐 玲  
TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



## 「よりよい伝統を築く」

～全校遠足での子どもたちの姿から～

校長 五十嵐 玲

梅雨空のもと、本校の職員玄関側の門付近に咲いているガクアジサイの美しさに心癒される季節となりました。ガクアジサイの花言葉は、「謙虚」とのこと。梅雨明けが待ち遠しく感じられる今日この頃ですが、様々な植物にとっては恵みの雨でしょうから、何事も人間中心に物事を考えるのではなく、人間も自然の一部であると改めて自覚し、「謙虚」に、この梅雨という時期を受け止めていきたいと思えます。



さて、5月26日(金)に「全校遠足」が保土ヶ谷公園で行われました。この全校遠足は、年間を通して行われる「たてわり活動」の一つとして実施されたものです。「たてわり活動」とは、1～6年生のすべての学年の子どもが一つのグループをつくり、そのグループで様々な活動を行うことを通して、温かい人間関係を育んだり、高学年であれば、リーダーとしての自覚を高めたりすることをねらって行われる活動のことです。今後は、たてわりグループで集会を行ったり、掃除を行ったり、また、「星の子運動会」でも、そのグループを生かしていく予定です。



全校遠足では、ポイントラリーを中心に活動をしました。各たてわりグループが協力し合って、7つのチェックポイントで様々なミッション(例えば、ジェスチャーゲームなど)をクリアしていきます。各グループは、一つのミッションをクリアするごとに一文字ずつワードを手に入れることができ、すべてのワードを手に入れると七文字の言葉(今回は、「いがらしあきら」)が完成するという趣向となっています。

当日は、どのグループも、6年生のリーダーを中心にとても意欲的に活動している様子が見られました。また、高学年の子どもたちが、とても温かい態度で低学年の子どもたちに接している姿が印象的でした。今回の活動を通して、高学年の子どもたちは、高学年として活動することの大変さを感じるとともに、高学年としてのプライドを大いに感じる事ができたのではないのでしょうか。一方、低学年の子どもたちにとっては、高学年の子どもたちのすばらしさを感じるとともに、そのような先輩たちに対するあこがれの気持ちを抱き、よりよい自分になろうとする気持ちを高めるきっかけになったのではないかと思います。そして、このような学びを繰り返す中で、星川小学校のよりよい伝統が築かれていくものであると考えます。

※子どもたちの様子は、別ページにも紹介してありますので、そちらも是非ご覧ください。また、保土ヶ谷公園を子どもたちが往復する場面では、地域の方々に、ご不便をおかけしたところもあろうかと思いますが、どうかお許しください。

さて、少し先になりますが、7月21日から、子どもたちが待ちに待った夏休みを迎えます。子どもたちには、学校ではできない様々な体験をしてほしいと願うとともに、安全面、健康面には十分注意し、8月28日、元気よく登校してほしいと祈っております。夏休みも含め、地域の皆様、保護者の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

